

第 10 回社会活動事例報告会に関するアンケートの報告

令和 3 年 6 月 21 日

広報小委員会

社会委員会主催の第 10 回社会活動事例報告会（令和 3 年 5 月 28 日、Web 配信）について、今後の運営に生かすために、参加者に対してアンケートを実施したので、その結果について報告する。

なお、質問 6、7 は、個々の発表の評価であり、非公開として取り扱いたい。

1. アンケートの回収状況

今回のアンケートは、事例発表会が Web 配信で行われたために、インターネットを介したサービス（Google Forms）を使用して行った。提出されたアンケート数は、回答期限の 6 月 4 日までの 7 日間で 199 件であった。しかし、CPD 参加証を希望した 175 件のうち、重複回答のもの 9 件、申込者リストと一致しないもの 1 件、計 10 件が見つかったために、これを削除して 189 件のデータを整理して取りまとめた。なお、参加者数*（263 件）に対する回収率は 72%である。

*参加者数=申込者数 264 名－欠席連絡 2 名+委員(申込者を除く)のうちアンケートを提出し CPD 参加票を希望したもの 1 名=263 名

表 1 アンケートの回収状況

a) 過去の事例発表会との比較

区分	形態	参加者	アンケート回収数	回収率
第10回(今回)	Web 配信	264	189	72%
第 9 回	集合	35	27	77%
第8回	集合	36	28	78%
第7回	集合	56	46	82%

注) 第 7～9 回は講師を含む

b) 経過日数ごとの回収状況

区分	件数	比率	備考
当日	100	53%	事例発表会(R3/5/28)
翌日	13	7%	土曜
2 日目	3	2%	日曜
3 日目	52	28%	事務局催促メール
4 日目	7	4%	
5 日目	8	4%	
6 日目	3	2%	
7 日目	3	2%	回答期限(R3/6/4)
計	189		

2. 回答者の属性（質問 1, 2）

アンケートの回答者の年代等は、次表のとおりである。

表 2 回答者の年代

年代	件数	比率
20 歳代	0	0%
30 歳代	4	2%
40 歳代	23	12%
50 歳代	40	21%
60 歳代	83	44%
70 歳以上	39	21%
計	189	

表 3 回答者の立場

立場	件数	比率
技術士	183	97%
修習技術者	6	3%
その他	0	0%
計	189	

表4 回答者（技術士）の技術部門（複数回答可）

a) 技術士の技術部門

技術士の技術部門(複数回答可)	件数	比率
機械	15	5%
船舶・海洋	1	0%
航空・宇宙	0	0%
電気電子	29	10%
化学	8	3%
繊維	1	0%
金属	6	2%
資源工学	0	0%
建設	74	26%
上下水道	15	5%
衛生工学	3	1%
農業	13	5%
森林	3	1%
水産	4	1%
経営工学	9	3%
情報工学	7	2%
応用理学	12	4%
生物工学	3	1%
環境	11	4%
原子力・放射線	0	0%
総合技術監理	63	22%
未記載	6	2%
計	283	

b) 記載部門数

記載部門数	件数	比率
未記載	6	3%
1 部門	113	60%
2 部門	51	27%
3部門	14	7%
4 部門	4	2%
5 部門	0	0%
6 部門	1	1%
計	189	

3. 社会活動事例発表会への参加状況（質問3）

初めて参加したとした方が86%にのぼり参加者も多いことから（表5）、過去の事例発表会と比べて（表6）、新たな参加者が増加している。

表5 事例発表会への参加状況

過去の参加	件数	比率
参加したことがある(2回以上)	13	7%
参加したことがある(1回)	13	7%
今回初めて参加する	163	86%
計	189	

表6 過去の事例発表会の参加状況

過去の参加	第9回	第8回	第7回	計(件数)	比率
参加有	6	5	7	18	26%
参加無	10	17	23	50	74%
未記載	11	6	16	33	
計	27	28	46	101	

質問：3. 過去に社会活動事例発表会（第1～9回）に参加されたことがありますか（選択・必須）。

4. Web 配信（質問4）

5段階評価（質問4-1）では不満とする割合は1割以下であり（表7）、自由回答の意見（質問4-2）でも

肯定的な意見が多かった（参考表1参照）。新型コロナウイルス感染症対策のためにWeb配信となったが、地方でも参加しやすい、時間・場所の制約が少ないことから、今後の利用を希望する声が高い。また、意見では、運営に対する不手際についての指摘もあった（表8）。講師もWebを通じての参加する方式であり対応が困難なところもあるが、改善する方向で検討していく必要がある。

表7 Web配信の評価（5段階）

Web配信の評価	件数	比率
不満	3	2%
やや不満	12	6%
どちらともいえない	31	16%
やや満足	80	42%
満足	63	33%
計	189	

質問：4-1. Web配信（Microsoft Teams）について、5段階で評価をお願いします（選択・必須）。

表8 Web配信における主な指摘事項

区分	主たる内容
Teams	Zoomの方が望ましい。不慣れであるので操作にとまどった。
音声・画面	音声の途切れ・聞こえにくい、画像のあれなどのトラブルがあったことから、対応を求める。（運営側がチェックしておく必要がある）
参加者への周知	参加者のカメラ、マイクを切ることを徹底する必要がある。ホスト側で強制的に操作すべきである。
リハーサル	発表者のリハーサル不足がめだった（交代時の不手際、画面共有などの操作ミス、接続不備など）
質問(チャット)	チャットは使いにくい。チャットに質問・意見以外のことが表示されてわかりにくい。
資料等	資料等（パスワードの設定を含む）の配布について事前に知らせてほしい。資料をもう少し早く公開してほしい。
設備	バックボード・専用カメラを用意してほしかった。

5. 発表テーマの設定（質問5）

発表テーマについては、不満としたものが5%以下であり大きな問題はなかったと考えられる（表9）。

表9 発表テーマ設定（5段階）

テーマの設定	件数	比率
不満	1	1%
やや不満	4	2%
どちらともいえない	36	19%
やや満足	94	50%
満足	54	29%
計	189	

表10 過去の事例報告会の発表テーマ設定（3段階）

発表テーマ選定	第9回	第8回	第7回	計	比率
不満	0	0	0	0	0%
どちらともいえない	1	2	2	5	5%
良かった	22	24	37	83	82%
未記載	4	2	7	13	13%
計	27	28	46	101	

質問：5. 発表テーマの設定について、5段階で評価をお願いします（選択・必須）。

6. 社会活動への参加（質問8）

アンケート回答者の社会貢献のための社会活動への参加については、次のとおりである。参加しているまたは参加したいとする方が8割以上いることから、事例報告会の意義は大きいと考えられる（表11）。

すでに参加しているとした方が実際に参加されている活動は、理科などの教育関係、防災・環境関係、専門技術関係など幅広い活動が行われている。また、活動の場としては、学協会、教育機関、自治体、地域、海外などが挙げられている（参考表2参照）。

表11 社会活動への参加

社会活動への参加	件数	比率
すでに参加している	55	29%
参加したいと思っている	106	56%
その他	28	15%
計	189	

表12 過去の事例報告会の社会活動への参加

社会活動への参加	第9回	第8回	第7回	計	比率
すでに参加している	12	9	12	33	33%
参加したいと思っている	9	10	21	40	40%
その他	3	7	9	19	19%
未記載	3	2	4	9	9%
計	27	28	46	101	

質問：8. 社会貢献のための社会活動への参加についてお聞きます（選択・必須）

7. 社会活動への意見（質問9）、その他の意見（質問10）

社会活動について、日本技術士会への期待等の意見については、参考表3に示した。社会貢献活動の継続的な実施を求める声が多かった。

また、その他ご意見については、参考表4に示した。

8. CPD 参加票（質問11）

CPD 参加票は、9割近くが希望している（表13）。

回収期限後に、参加票を希望した者（175件）のアドレス・氏名を、申込者リストと照合したところ、希望者の中で重複していたもの9件、申込者リストになかったもの1件があった。これらを除いた165件について、6月12日早朝に、メールにて、参加票を配布した（WORDの差し込み印刷機能を利用）。

なお、参加票を希望した者のうち、申込者リストとアドレスは一致しないが氏名が一致する例が8件あったが、そのうち2件は、アドレスの誤記で配布できなかったため、申込者リストのアドレスを使用して再配布した。

表13 CPD 参加票の要否

CPD 参加票の要否	件数	比率
CPD 参加票希望	165	87%
不要	24	13%
計	189	

注) 集計では、重複・申込者リストにないものを除外

(担当：櫻井正明)

参考表1 Web 配信に対する意見（参考として評価別に全文を掲載）

評価	Web 配信についての意見
不満	非常に有用と思いますので今後も積極的な利用をお願いします。
不満	受信状況が不安定
不満	zoom と異なり、手続きや取り扱いが分かりづらい。この時代、慣れるしかないとは思いますが土木学会のように zoom を主体に出来れば、と思う。
やや不満	Web 配信でなければ参加することが出来なかったもので、大変助かりました。今後も Web 配信を続けてほしいです。
やや不満	遠方の者も同様に参加しやすい。CPD の扱いも会議参加同様にする工夫はないか検討願いたい。
やや不満	不慣れな点もあったと思います。事務局大変です。講師も慣れていなかった人が多いようです。仕方ないです。
やや不満	Teams の利用は不具合が多くて困るので、Zoom の利用が望ましいと考えます
やや不満	Teams の発表者への事前の接続テストが必要かと思いました
やや不満	画面の共有、音声など改善の余地があると思います。
やや不満	資料のページ送りにラグを感じたが、事務局がやっておられるのでしょうか。本人にやっていただいたほうが良いと思います。
やや不満	途中で音声が小さく聞き取りづらくなった。
やや不満	<ul style="list-style-type: none"> ・チャット 意見以外に、参加者の接続状況が表示されて、分かりにくかった。 ・アンケート、資料の配布方法を事前に知らせてほしい。
やや不満	回線接続がスムーズでなかったこと(音量調整を含めて)が残念だった
どちらともいえない	WEB を使うことは良い方法だと思います。会場に出かけなくてすむのは良い方法です。講師の方に直接お会いできないのはちょっと残念ですが。
どちらともいえない	ネット環境下であれば場所を選ばず参加でき便利です。
どちらともいえない	現在の社会状況においても情報を受け取ることができるので非常に有益であると考えている。
どちらともいえない	今後もぜひ行ってほしいです。
どちらともいえない	場所の調整ができるので、出席しやすくて大変良いと思います。
どちらともいえない	全体的にスムーズに進行されていた印象を受けた。PPT のシートの切り替えを発表者ではなく、補助者が行われていたことは、発表者が講演に集中できるので」よかった。
どちらともいえない	足を運ぶ必要が無いので大変良い。
どちらともいえない	遠保からも参加で出来てよい
どちらともいえない	現地(講堂等)に行かず、Web 配信方式での参加のメリットを感じた。
どちらともいえない	小さなトラブルもあったようですが、他の Web ツールと同様、利用者の慣れの問題だと思います。今後も継続をお願いします。
どちらともいえない	地方在住者にとっては、とてもありがたいです。
どちらともいえない	特に問題ないと思います。
どちらともいえない	不具合はなかった。
どちらともいえない	今の状況では、仕方ないですね。
どちらともいえない	ZOOM と比較して安定性がやや劣るか？
どちらともいえない	ZOOM の方が音が良いと思います。TEAM は音が良くないと思います。
どちらともいえない	質疑応答が出来る従来の発表会の方がよい。(チャット:入力の手間、採択?が欠点)

	Web 配信は参加しやすいので技術士会活動対応しやすいと思う。なお事前資料を確認する時間がもう少しあると当日発表と併せて確認しやすくなりますので、ご検討ください。
	Zoom と比較したことがないので評価はし難いが、質問がチャットでしか出来ないのは寂しいし、面倒くさい。口頭質問できればよいのですが？
	大変便利で良いです。但し、操作の不慣れな点が目立ちました。日本技術士会のバックボードや専用カメラを準備されては如何でしょうか。他の方や部屋の様子が気になります。
	共有の設定に手間取っていた方、全画面設定をしなかった方などおられ、事前にプレゼン方式など、発表者に連絡されて、円滑な会の運営をお願いしたいと存じます。
	参加者が Teams に不慣れな部分があるため、立ち上げ前に運用ルールを周知すべき
	Web 配信が充実すれば、遠隔地である地方からの参加を容易にします。ますます進化して行くことを期待します
	Web 配信はとても良いと思っています。コロナ収束後も残していきたいのご意向を伺いましたが、是非そのようにしていただくと助かります。負担なく参加できます。
	コロナ禍なので当然だと思います。はじめてにしてはうまくいったのではないのでしょうか。
	コロナ禍の現状では非常に有効である。また、遠距離での視聴が可能となり地方に居ながら他地域の活動にも参加できていいシステムである。
	どこからでも参加できるので地方在住者は参加しやすいので継続願いたい
	リモート講演会は、無料で開催されることも多く、遠隔地で開催される場合にも参加が可能で、初めて参加する講演会等にも気軽に申し込みができるため、幅広い分野の講演等に参加することにより、報告者の活発な活動姿勢や報告内容に共感させていただき、モチベーションの向上や、さらなる社会貢献等に寄与していく気にさせていただいています。直接参加し交流ができるライブの講演会とともに、コロナ禍が終了しても講演会等に Web を活用(併用)することは良い効果をもたらすと思います。
	移動がなく居室にて自由に入室できるため、今後も取り入れていただきたい
	遠方でも参加できてよい
や	気軽に聴講できるので、良いと思います。
や	居所に関係なく公平な参加機会を設けるために、今後コロナ禍が収まったとしても、オプションとして残しておくことが必要と
満	考えます。
足	興味があっても、遠隔地からの参加が難しい場合がありますので、アフターコロナになっても、今回のような開催方式が併用されればと、期待しています。
	個々の操作能力や pc のスペックの違いがあり、難しいが、時間をかけて慣れていくしかないだろう。今回全国から多くの参加があり、メリットの方が大きい
	今回初めてですが、簡単に接続できました。
	今後も積極的にwebの活用をお願いします
	参加しやすいので、今後も続けて欲しい。
	資料が画面で大きく見ることができ、また、講演者の声もイヤホンで聞くと良く聞こえて良い
	自宅から聞けるので非常に助かります。ありがとうございます。仕方ないと思いますが、最初の方に画面に映らなかつたりがありました。全般的に満足です。
	自由があり、良いと思います。田舎の現場にいるので、対面では会場までの行き来が大変。
	場所を選ばず参加できるのはありがたい。
	多くの参加が可能であることは歓迎すべきことです。コロナ終息後も継続していただきたい。
	地方から参加、聴講がしやすくて今後とも利用していきたい。
	地方に住んでいる会員にとって、ありがたいです。今後も WEB 配信を、お願いいたします。

良かった。
200人規模のWeb配信でしたが順調に進んだように感じます。大人数になるとアクセス集中で止まってしまうケースが多かったのです。
途中、画面表示などが止まると運営側でない参加者がマイクONされて、いろいろとコメントが入る状況は、収集がつかなくなるリスクがあると感じました。予め進行中の音声コメントを控えて頂くお願いが必要と感じました。
Web配信は非常に便利
Zoomより重いと思いましたが問題ありませんでした。
コロナ禍であるため、Web配信が安心である。
移動時間なく参加できるので参加しやすい
遠隔地でも参加できる点がメリットです。今後もweb参加を希望します。
遠距離者としては、Web講演はとでもよい
音声は少し不十分(聞き取りにくい)な時があったが、おおむね満足でした。
音声が途切れたり、よく聞き取れないなどの点で十分とは言えないが、取敢えず内容は把握できる点でよしとすべきだと感じます。
会場へ参加のために交通手段や時間を気にせずに参加できるので、開催の担当者の方にはお疲れ様ですが大変助かります。できる限り参加の機会を増やしたいと思います。
在宅、職場でも参加が可能で良いと思います。今後もwebの活用をお願いします。
時間が有意義(対面に比べ)に使えてよい。
自宅で講演が聞け、遠距離者にとってよい。今後もWeb配信を望む
今後もWeb配信をお願いします。
会場へ行かずに聴講できるので便利です。
Teamsは初めての利用参加でしたが特に問題はありませんでした。
やや資料の共有化に手間取った所もありましたが、概ね支障はなかったと思います。
一般的な配信で使用上問題ない
接続等の不具合が一部ありましたが、おおむね問題ありませんでした。
普段のWeb会議でもTeamsを利用しているため問題ありません。
遠隔参加できる点は良いが、環境によっては内容に集中しにくいこともあります。
Web配信環境への整備が不十分、又はバラツキを感じました・・・
講師の方との連携が難しいような感じを受けました。
今回不慣れなため最初判り難かった
参加するのに少し手間取りました。画像・音声が見えづらい聞こえづらい点がありました
WEB配信は便利ですが、コミュニケーション等が不足で寂しい。発表者を囲んでの交流は楽しいものです。従来の事例発表会の復活をお願いします。
パワーポイントの文面にプラスした説明が欲しいのですが、時間が厳しいかもしれませんね。
基本的には問題なく視聴できましたが、たまに音声トラブルがありました。
地方から参加することが難しいので、Web配信は非常に助かります。
今回はZoomではなかったのでソフトの扱いに戸惑った。
使い勝手が良くない:交代時の対応をよくすること
声が聴きにくい事例があった。
地方在住者にとっては、参加が簡単で良いが、音声が聞こえにくいことがある。
地方在住者は移動時間軽減のメリットが非常に大きい。しかし、音声や画像の乱れが気になる。

	通信容量が課題の面があると感じました。
	添付資料のパスワードは分かりにくかったかもしれません。(当日、質問もありました。)
	システムの品質面でまだまだ十分とは言えない状況である。(画面の乱れ、音声の途切れ等による中断がある。)WEB配信での実績を積み重ね、システムの品質を高める必要がある。
	できればレジメをPDFなどで提供してほしい
	事前の準備を、リハーサルをしっかりと行ってほしい
	所在が遠くの場合、宿泊や交通費がかからず良いと思う。ただし、対面でのコミュニケーションは減ってしまうので何回かに1回は現地でお会いできれば良いと思う
	発表のリハーサルをしておく方が良いのでは。
	ZOOM会議にしてほしいです。
満足	交通費と交通時間が軽減できる。
	Teamsに限らず、すべてのCPDにリモート講演を導入すべきである
	コロナ禍にあっては、大変有効な手段と思います。
	スケジュールの調整がしやすいのでWeb配信があると非常に助かります。
	とてもよく聞こえた
	リアル(対面)による意見交換も必要ですが、Web配信で遠くの者も参加できるので良いと思います。
	移動時間、音声、画像とも良。
	遠隔地での参加が可能であり、有効な方法と思います
	会場に行かずに済み良かったと思います。
	会場に出かける必要がないので、時間も節約できる。
	幹事の皆様方、聴講者の表情が分かりにくいので大変だったと思います。本当にありがとうございました。
	関西に住んでいるのでWEBで参加できてありがたい。東京で集合では参加できなかった。
	参加費・移動費が不要で学習ができるため非常に満足している。移動時間が不要で時間を有効に活用できる。コロナが落ち着いても同様の形態で開催して頂きたい。
	自宅(テレワーク中)でも視聴できるので、非常にありがたいです。
	多くの方が聴講可能のため良い試みと思います
	大変視聴しやすかったと思います。継続していただくようお願いします。
	地方に拠点をおいている技術士は会場参加が難しいので、今後もWEB配信の機会を増やして頂いたらと思います。
	地方の技術士にとっては、参加しやすいので、今後もWeb配信をお願いしたいと思います。
	地方在住者にとって、通常時でも都市部での開催が多い発表会や講演会がリアルタイムで受講できることから、Web配信での開催は有難い。
	通信環境に問題なく視聴できた。今後もWEB配信での発表会を希望する
	WEBの習熟と共によくってきた。全国展開し技術士の認知度、会員拡大につなげたいものです。
	コロナ禍がなくなった場合も継続してもらいたい
	それぞれの発表者の方の、個性が表れてて親しみやすかった。これからもよろしくお願いします。
	遠方から参加できるので、便利
	会費を伴う講演会や講習会を今後とも継続する事をお願い致します。
	今後もWeb配信でお願いしたい。
	参加しやすいので、基本的にWeb配信として欲しい。
大変良かった。今後も希望。	
地方からでも参加できる。	

旅費交通費がかからないのは良い。
会場で参加できない方でも参加、聴講できるという面では良いと思います。
開催場所までの時間が削減され、自宅の在宅勤務でも受講でき、非常に助かります。
気軽に参加できて良いと思う
コロナ渦において社内の会議を Teams で行っているので問題ありませんでした。
講演と変わらず聴講できました。
途中で音声弱くなる場面がありましたが、全体として支障なく拝聴できました。
カメラオンの方の切断をホストがやってほしい。
参加人数が増えると想定外のことが起こります。事務局対応、ご苦労様です。
司会者、発表者など関係者以外の顔がながく送信されており、迷惑です。
発表者の音の調整が難しいですね。事前のマイクテストが必要だと思います。
発表者以外(事務局含む)は必ず、ビデオ、マイクのオフを徹底して欲しい。 守られないと、画面に顔が出て見苦しく、せき声が入って聞き苦しい。 守っていない人は、強制切断して欲しい。
音声が聞き取りづらい(反響?)場面がありましたので、対応頂ければ幸いと存じます。
資料公開等に多少時間を要した事もありますが、web この時期にとっても有効だと感じました。また Cpd の発行もとてもありがたいです。
操作が分かりづらい(たまにしか使わないため、操作をおぼえない)

参考表 2 参加している社会活動（参考として全文掲載）

*すでに参加していると回答された方への質問

参加している社会活動
①一般(環境・防災など)
ボランティア、情報発信
研修会の講師
積極参加ではない。看護師教育の一講座で病歴体験報告会に乞われて参加した程度。今後積極参加の予定はない。災害時の後方支援程度ならボランティア志願してもよいかと。
環境部門技術士として、自治会や老人会活動の中で、ごみ処理・資源リサイクル・省エネ対策などについて学習会を開催している。
地球温暖化防止活動(市民活動&千葉県地球温暖化推進員)、省エネ診断/提案など
アユの産卵場造成、流域住民を対象とした水生生物の解説・展覧
住民参加型の防災に関するワークショップなど
防災学習
②学協会
学会、協会活動
技術士会 防災委員会に参加
近畿本部の活動、防災に関する NPO の活動、京都技術士会(小学生向け理科支援)
埼玉県支部の地域産業支援委員会に参加して活動している。
神奈川県支部 科学技術振興支援小委員会
青年技術士会における小学校や一般の方への貢献活動
地域本部の社会貢献委員会、市の温暖化防止委員会、地域の自治活動等
地域本部の社会貢献委員会、倫理委員会に所属し、理科教室や工学倫理講師などの活動がある。
防災士としての防災教育(DIG,HUG など)
慶應技術士会の社会貢献活動。個人としての大田区児童館での工作教室
神奈川県理科チームの活動です。
③技術
中小企業の技術支援活動
NPO コンクリート技術支援機構に所属し、技術指導を行う。
プロジェクトマネジメント技術、人材育成
技術士受験指導のボランティア講師。
橋梁の点検維持管理
工事監査 WG
市町村支援
自治体における自主防災アドバイザー活動
地域防災学習会・土木系のイベント
品質マネジメントシステム審査員、労働安全コンサルタント等の活動(診断、指導、講演)を通し企業、業界への貢献。
③教育
具体的活動として、香川県技術士会員として、香川県教育委員会主催の、県内少学・中学・高校への学校防災事業へ香川大学よりの派遣アドバイザーとして6年間行っております。
公立中学校への出前授業

高等専門学校学生のキャリア支援のための出前授業
子ども理科教室などのイベント(神奈川県支部にて)
子供の安全研究グループです。
子供向けの科学技術の振興
子供理科教室
子供理科教室の講師
子供理科実験教室(京都技術士会にて)
女子学生や女性向けの技術サロンの開催や女子中高生夏の学校への参加など。
小学校での防災教育(駆け出し)
小学校での理科ボランティア活動。小学校でのプログラミング教育に対してのロボット提供による支援活動。防災士としての啓蒙活動。
理科支援など
中学生への理科体験学習、高校生へのSDGs研究活動支援
④海外
JICAのボランティア事業に参加した。
ベトナム地方農村での有機農業活動支援団体の運営
海外技術支援活動
⑤地域
地域の社会活動に参加
地域の清掃活動、自治会活動、日本技術士会委員会活動等
地域貢献活動
地域伝統芸能(神楽)
町内会活動への参加(役員)
小さいですが地域組織へ参加し次世代の育成支援に関与している。
地域防災活動

参考表 3 社会活動への参加に対する意見（参考として全文掲載）

社会活動に対する意見
日本技術士会で知見を深めていきたいと考えております。
日本技術士会における社会活動の位置づけの向上について、検討下さい
〇〇技術士会の〇〇の名前のほうが高名で「技術士」のPRが少ないのでは。
CPDシステムに縛るのではなく、我々はこのような社会寄与を重視して取り組むべきではないか。
NGOのような取り組みも良いと思います。一方、国の施策に、もっと参画できるようにしたいですね。
webの研修大変参加し易く内容も参考になりました。ありがとうございました。
いろいろな領域で継続的に進めることが大事で、技術士会は強力にサポートすべきと考えます。
このような活動を通じて技術士の存在意義と知名度が上がってほしいと願います。
このような事例発表は続けていただきたいです。また、ベテランの方の発表が目立っていましたので、若い世代の発表もあると良いかと思いました。
このような発表会をWEBで継続してください。
どのようにして世の中から期待される活動にするか、が課題かもしれません。
マッチング等していただければ幸いです。
メール等で社会活動のシーズを知らせてはいかがだろうか
“やがて定例総会ですが、会員数が2割程度というのが信じられないくらいです。継続研鑽のCPD取得の義務化が始まることを踏まえると、人の為、世(社会)の為という社会貢献を果たす技術士(正会員)がもっと多くなるべきと考えます。
そのためにも、このような「社会活動」の事例を登録技術士だけでなく、多くの国民の方々にも発信していければ、と願います。”
リスクの多い時代に、技術士ならではの活動について、一度、検討したほうが良い。
ローカルにもグローバルにも科学技術の発展のため幅広く活動し、もっとアピールできれば知名度向上に繋がります。(新聞やテレビでも報道されるように)
一人ひとりの地道な活動が世の中を明るくする。
一部の参加者に限られており、広がりが無い。
会員が参加しやすいように、機会があるときは誘いかけの案内してほしい。
活動に対する、本部の分厚い支援がほしい。すべて予算ありきで、急な対応申請困難
活動を知らない方がまだまだ多くいるのはもったいないことです。もっと普及すべき活動であるように感じます。
技術に加えて、対人関係における人間性の涵養に関わる貢献
技術士、および技術士会の存在と技術を国民に知ってもらう機会や活動をしていただければと思います。
技術士でしか出来ない活動は多々あると思っています。当方、いま直ぐには活動できる状況ではありませんが、いずれ何らかの形で参加したいと思っています。大変参考になりました。
技術士という資格を社会活動に生かして行きたいです。
技術士の貢献度・知名度アップのために、いろいろな活動を続けて頂きたい。
技術士の資格の認知度を上げるかと考えます。
技術士の存在意義を世の中にアピールする意味でも、社会との積極的な関わりが必要だと思うので、発表された方々の取り組みは大変有意義だと思いました。
技術士の知見を学校教育に反映のため、もっと文科省、教育委員会等と検討してできることの見える化をし、組織化し、技術士の知名度向上、技術の重要性を分かるようにしていただければと考えます。

技術士の知見を伝え、科学技術の楽しさを若者に広げていきたい
技術士の知名度を上げるためにも大切な活動だと思います。
技術士の知名度を上げる活動の一環であり、素晴らしい活動と思った。
技術士の知名度向上のため有益な施策であり、今後の取組みに大いに期待する。そのためには、一般住民に広く広報・PRする必要がある。
技術士の知名度向上策として、文科省・環境省などへの積極的 PR、PR パンプ更新など
技術士を紹介できる仕組みがあれば幸いです。
技術士を知ってもらうためにも大切な活動です
技術士会で一番アピールしたいキモだと思います。認知度もあがるし、正にこれです。
技術士会の認知度がまだまだ低いと実感しています。技術に携わっているものですら存在を知らない人も知るので、SNSも発達してきているので、もっともっと情報発信を積極的に行ってもらいたいと思います。
技術士会リソースを活用して「いいとこどり」につながると、技術士会と社会的な地位向上にもつながると感じた
技術士活動の大きな柱だと思います。
技術士資格を、もっと広く社会に浸透させて頂きたい。
技術士資格取得者の職業活躍の場が提供される社会的地位向上での国際的通用性の確立
技術士制度改革(とくに更新制度)を円滑に進められないような、日本技術士会には何も期待していない。
技術者の高齢化が進むなかで、若い技術者への「楽しく学べる高度技術の研修会」があるといいです。
慶応技術士会の方が言われたように、自分たちの存在意義を高めるために、必要な活動だと思います。
公益社団法人としての縛りがあると思いますが、地域貢献の観点から、もう少し規定に縛られない自由な社会貢献活動を行える融通に期待します。
公益社団法人として国交省や大学及び学会に協賛し、活動していますが認知度は低いです。
行事参加の呼びかけをホームページに掲載していただければ助かります。
高校生・学生さんが参加できる仕組みづくりやアシストで何かできるような気がします。
今回 初めての参加でしたが、ベテラン者に加えて若い技術士の参加も多くするように工夫願いたい。
今回のような発表会を継続していただきたいと思います。
今回の社会活動発表会が、各地域本部においても開催できれば大変ありがたいと思います。
今後も活動について広くPRしていただきたいです、
災害国日本のリスク対策と省エネルギーにベクトルを合わせた活動は重要なテーマだと思います。
産学官と連携した活動、情報提供
産学官民の連携を強める社会活動に期待したい。
子供、若年者への科学技術のおもしろさの展開を多くして、今後の技術力継承へ期待したい。
支部ごとにどのような行動がされているかの情報があれば参加しやすい。
自治体などにもっと広く認知されるよう統括本部の活動を期待します。
社会の課題に、積極的に行動することが期待されていると感じます。
社会の課題を解決するための取り組みテーマを選定し、技術士会全体で取り組むことが必要と思う。
社会活動への支援をもう少し手厚くしていただきたい。
社会起業家的な活動ができないものか。単なるボランティアではなく営利でもない。
社会貢献活動そのものの重要性はもちろんのこと、メディア等への PR により、技術士の知名度が上がることを期待します。
社会的な認知度向上への取り組みでしょうか。

若い方々の参加を期待したいです
色々な活動を報告していただくと有難いです。
世界中で活躍している日本の技術をピックアップして見たらどうかと思いました。(たくさんはないでしょうか)
専門家としての経験を生かす場として、期待が大きい。
専門家を繋ぐ機会の提供。連絡の仲介。
全国的に展開していく方策を具体化していければいいです
素晴らしい活動を継続していただきたいと思います
多様な分野の技術士が登場することでより大切な社会貢献の視点が見えてくるのではないか。
退職後、報酬を意図せず JICA の国際ボランティア事業に参加したが、CPD では社会貢献活動とは認められず苦勞している。
知名度アップの絶好の機会です。
地域で気軽に参加できる活動を紹介していただければ幸いです。
地域密着で、出来ることからやりたいです。
特定の委員会、地域支部活動に限定されず、広く参加できる機会の創出を希望します。
日本学術会議より社会貢献を行ってます。頑張りましょう。
これからも頑張ってください
今後の活躍に期待したい。
今後も継続して貰いたい。
今後も社会活動の講演を聞きたい
今後も社会活動の発表を聞きたい

参考表 4 その他の意見（参考として全文掲載）

その他の意見
“Web での発表に慣れていない方を含めての時間通りの進行, チャットでの問題対応や質疑応答とをうまく行われて良い発表会運営と感じました。
運営側をお願いするのも筋違いですが, 参加側がもう少しリモート講演会に慣れてくると変な画面共有などの操作ミスで中断がなくなると感じました。
御準備・運営された皆様・御講演された発表者の方, ありがとうございます。”
オンライン報告をうまく活用してほしい。
こうした技術士会の社会活動が広く世間に認知されるには、やはりマスコミの力を無視できない。今後各種メディアを通じて広報されて行くことが望ましい。
この種に発表を通じて啓蒙することが大事と考えます。
これからも、今回のような事例発表会に参加出来ればと思います。
コロナ禍での発表会開催、有難うございました。次回開催を楽しみにしております
ポストコロナとして、WEBの活用を通常でも採用してほしい。
マスコミ対応が有効なのではと感じました。
ユーチューブチャンネルアップとか、もっともっと技術士知名度アップの努力をしてほしい。社会貢献には自らの宣伝(対マスコミ)も打って出る必要があると思います。
何か参加できることがあれば良いと思っています。
皆さんの素晴らしい活動を聞き感動しています。
各地域の技術士でつくる NPO 法人などとの連携も必要と考えます。
現在活躍している日本の技術と一緒に、今後の展開が期待されている技術と、その技術に携われることの素晴らしさや、どうすればそこに行けるかなどのは、子供は喜ぶのではないかと思いました。(今回のように、上から目線の話だけで無く、子供と一緒に未来を感じたい、のようなイメージ)
高度な技術を用いた装置が増える中、それらの教育に関し技術士の役割は大きくなると思うけれど、教育者としては素人なので、子供の教育にどのように関わるかを検討する必要があると思う。
国の資格である技術士であるので、実務的には日本学術会議より上ですので政治家にもっとアピールを行ってください。
今回、事務局から丁寧な案内がありありがとうございました。
今回「中国製造 2025」の発表があったので参加した。海外支援の名目で無条件に技術移転を行うことは問題がある。米中を中心とする経済安保について、技術士会自体も含めもっと敏感になるべきである。
今回のような WEB 発表の拡大をお願いします。
今後も web での配信を続けて貰いたい。
社会活動事例についても発表会、今後も続けていただきたい。
若い人たちへの授業や教育・工作等、興味を持つことが技術力向上につながることを再認識した。
色々な形で社会活動とかかわり方があると思います。私は個人での活動が向いています。
大きなビジョンが欲しいですね。例えば、社会的な価値・利益を創出することを目的に、それにつながる具体的なミッションをカテゴライズして、その中で技術士が活動したいですね。
地方に居ると講演会などに出席するのが困難であるので、この様な WEB による講演会等は大変助かります。
地方の技術者はスタンドアローンで頑張っておられることが分かった。もっと都市部の技術士との交流ができるよう技術士会の取り組みを強化する必要がある。
日本技術士会への入会率向上に向けてのさらなる対策が必要と思います

ありがとうございました。

お疲れさまでした。

引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

講演ありがとうございました。自分にとって有効でした

今後も御指導よろしくお願ひ致します。

大変に貴重な発表会でした。ありがとうございました。

大変貴重なご講演を拝聴させて頂きました。有難うございます。

大変貴重な発表をありがとうございました。

大変参考になりました。ありがとうございました。

大変有意義な発表会でした。ありがとうございました。

沢山の話題に触れさせていただき感謝しております。

本日はありがとうございました。良い発表会で学ぶ点がありました。